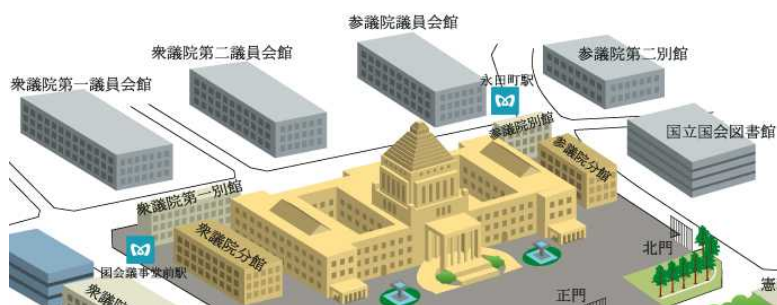


【緊急院内セミナー】
どうする？
放射線による健康被害への対応
市民・専門家による提言

3月7日（木）12：30～15：30 @衆議院第一議員会館多目的ホール

このほど市民・専門家の連携で立ち上がった「放射線被ばくと健康管理のあり方に関する市民・専門家委員会」が主催で、健康管理体制のあり方について提言を行うための緊急院内セミナーを開催します。政府にも参加を呼び掛けています。

一人でも多くの方のご参加をお待ちしております。



◆日時：2013年3月7日（木）12：30～15：30

※12：00からロビーにて入館証を配布します

◆会場 衆議院第一議員会館 多目的ホール（最寄駅：東京メトロ 永田町駅、国会議事堂前駅）

◆内容（予定、敬称略）

12：30～14：00 第一部 セミナー「放射線による健康被害～現状把握と対応」

津田 敏秀（岡山大学大学院環境学研究科教授、電話でのコメント）

島藺 進（東京大学大学院人文社会系研究科教授）

山田 真（子どもたちを放射能から守る全国小児科医ネットワーク代表）

崎山比早子（高木学校、元放射線医学総合研究所主任研究官、医学博士）

国における取組／政府関係者（予定）

14：10～15：30 第二部 対話セッション（環境省・復興庁）

◆資料代：500円

◆申込み：件名を「3月7日院内セミナー申込み」として、①お名前、②ご所属、③ご連絡先（電話／E-mail）を、FAX 03-6907-7219、またはE-mail: finance@foejapan.org にご連絡下さい。

◆主催：放射線被ばくと健康管理のあり方に関する市民・専門家委員会（裏面）

◆協力：原発事故子ども・被災者支援法 市民会議

◆問合せ 放射線被ばくと健康管理のあり方に関する市民・専門家委員会 事務局
国際環境NGO FoE Japan／tel: 03-6907-7217（日中・昼間のみ）

放射線被ばくと健康管理のあり方に関する市民・専門家委員会について

原発事故に伴う住民の健康管理のあり方に関して、独立した観点からの検討・提言を行うことを目的とします。

専門家や医療関係者、弁護士、福島の被災者、市民団体の代表で構成します。

【委員一覧（五十音順）】

崎山 比早子／高木学校、元放射線医学総合研究所主任研究官、医学博士

阪上 武／福島老朽原発を考える会

島藺 進／東京大学大学院人文社会系研究科教授

高橋 誠子／子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク

高松 勇／小児科医、小児科医医療問題研究会、子どもたちを放射能から守る全国小児科医ネットワーク

中手 聖一／子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク

福田 健治／弁護士、福島の子どもたちを守る法律家ネットワーク

村田 三郎／阪南中央病院 副院長

山田 真／小児科医、子どもたちを放射能から守る全国小児科医ネットワーク代表

吉田 由布子／「チェルノブイリ被害調査・救援」女性ネットワーク

【呼びかけ団体】 国際環境NGO FoE Japan

福島老朽原発を考える会

福島の子どもたちを守る法律家ネットワーク (SAFLAN)

【事務局】 国際環境NGO FoE Japan 渡辺瑛莉、満田夏花／ 090-6142-1807

Tel: 03-6907-7217 (平日・日中) Fax: 03-6907-7219

〒171-0014 東京都豊島区池袋3-30-22-20